

日用品工業団体協議会・異業種工場見学会

～八重のふるさと福島県（会津漆器・硝子瓶工場）視察ツアー～

出発日 平成25年7月26日（金）

帰着日 平成25年7月27日（土）

日用品工業団体協議会

参加者名簿

氏名	所属	備考
佐川 安壽	東京アンチモニー工芸協同組合 前副理事長	
菊池 哲	一般社団法人軽金属製品協会 監事	
大沼 章浩	一般社団法人全日本文具協会 専務理事	
橋口 陽一	一般社団法人日本硝子製品工業会 専務理事	
西部 弘司	協同組合ハウネット 専務理事	
春原 博	一般財団法人生活用品振興センター 専務理事	
春原 政則	一般財団法人生活用品振興センター 業務部 課長	事務局

見学先

会津漆器（会津漆器協同組合）
〒965-0042 福島県会津若松市大町 1-7-3
福島県伝統産業会館内



福島県伝統産業会館

柏洋硝子株式会社（二本松工場）
〒964-0866 福島県二本松市長命 233-1



柏洋硝子社 二本松工場

宿泊先

会津若松ワシントンホテル
〒965-0024 福島県会津若松市白虎町 201
電話：0242-22-6111



会津若松ワシントンホテル

会津若松・訪問先 MAP



事務局

日用品工業団体協議会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-15-2 松島ビル 4F

一般財団法人生活用品振興センター内

担当：すのばら 春原 政則

電話 03-3639-8881

FAX 03-3639-8880

日程表

第1日目 7月26日(金) 「会津漆器見学会」

場所等	時刻	交通機関	備考
JR 会津若松駅	14:00	任意	「会津バス駅前観光案内所前」集合
福島県伝統産業会館	14:15	送迎車	会津漆器の概要説明など
竹内漆器木工所	14:50		板物木地
(有)儀同漆器工房	15:35		手塗り塗装
ほそや工房	16:20		吹き付け塗装
福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター	17:00		施設見学、会津漆器の取り組み についての説明など
長谷川木工所	18:00		丸物木地
会津若松ワシントンホテル	18:40		チェックイン
鶯宿亭	19:00		夕食(懇親会)

<p>「会津若松駅」 周辺地図 (集合場所とホテル)</p>		 <p>集合場所は 「会津バス駅前観光案内所前」</p>
--	---	--

食事	朝食：任意
	昼食：任意
	夕食：鶯宿亭(おうしゅくてい)

MEMO	
------	--

第1日目 7月27日(土)「会津市内観光と硝子瓶工場見学会」

場所等	時刻	交通機関	備考
会津若松ワシントンホテル	08:15	送迎車	各自チェックアウト
鶴ヶ城	08:30		見学時間：約60分
会津酒造歴史館	09:45		見学時間：約30分
会津武家屋敷	10:30		見学時間：約60分
九曜亭	11:30		昼食 時間：約45分
柏洋硝子(株)二本松工場	13:30		工場見学：約2時間
JR郡山駅	16:00	任意	解散

観光スポット		左上：鶴ヶ城 上：会津酒造歴史館 左：会津武家屋敷
--------	---	---------------------------------

食事	朝食：ホテル
	昼食：九曜亭（会津武家屋敷内）
	夕食：任意

MEMO	
------	--

訪問地説明

会津漆器

会津の地に本格的に漆工芸が根付いたのは、天正十八年（一五九〇）豊臣秀吉の命を受けて会津の領主となった蒲生氏郷公が産業として奨励したことによります。氏郷公は前の領地であった日野（滋賀県）から木地師（きじし）や塗師（ぬりし）を呼び寄せて先端技術を伝授させます。これによって会津塗の技術は飛躍的に進歩を遂げ、漆の栽培から加飾（かしょく）までを一貫して手がける一大産地となっていったのです。

江戸時代には会津藩の藩祖・保科正之（ほしなまきゆき）公が漆の木の保護育成に努め、また、歴代藩主が技術革新に熱心に取り組み、中国、オランダなどへも輸出され、隆盛を迎えます。

しかし、幕末の戊辰戦争（ぼしんせんそう）において会津漆器は壊滅的な打撃を受けてしまいます。戊辰の戦火によって焼け野原と化した会津の復興は、会津漆器の復興でもあったのです。

明治の中期には、会津は日本有数の漆器産地としてその名を再びとどろかせるに至っています。四百年という時を超えて生き抜いた伝統の技の上に、常に最新技術を積極的に取り入れ会津漆器は現在まで成長を続けています（会津漆器協同組合のホームページより）

会津武家屋敷

会津武家屋敷は江戸時代の会津藩家老西郷頼母の屋敷を中心に、福島県重要文化財である旧中畑陣屋や数奇屋風茶室、藩米精米所などの歴史的建造物が軒を連ねる屋外博物館（ミュージアムパーク）です。江戸中期の和建築の粋を集めて造られた38部屋ある家老屋敷では各部屋をどの様に使用していたかをろう人形を使ってリアルに再現しています。敷地内には会津歴史資料館、会津の代表的な仏画を中心に展示した美術館・青龍の他、会津・福島の名品を揃えた総合売店「郷工房古今」や会津の伝統的な郷土料理が味わえるレストラン「九曜亭」などが併設されています。

会津酒造歴史館

現在も実際に酒造りの行われている宮泉銘醸一番蔵を一般公開しています。醸造行程が見学でき、また、酒に関する品々も多く展示されていて、会津清酒の生い立ちがひと目でわかります。冬は実際に仕込む本物の蔵だけに情緒も迫力も満点です。地元限定の清酒や焼酎なども試飲ができます。

鶴ヶ城

鶴ヶ城は今から約630年ほど前に、その前身ともいえる東黒川館を輩名直盛が築いたのがはじまりと言われ、戊辰戦争では約1ヶ月に及ぶ激しい攻防戦に耐えた名城として、その名を天下に知らしめました。明治7年に取り壊されましたが、昭和40年に再建、平成13年には天守閣に続く建物「干飯櫓・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元されました。天守閣の内部は郷土博物館となっており会津の歴史に触れることができます。平成23年には赤瓦へのふき替えが完了し幕末当時の姿を再現し、現存する天守閣では国内唯一の赤瓦の天守閣となっています。

柏洋硝子株式会社 会社概要

創立／1961年9月

資本金／4500万円

代表者／代表取締役社長 七島 徹

社員数／146名(男子112名 女子34名)

事業内容／各種硝子容器の企画、製造、販売

視察風景



竹内漆器木工所にて



会津若松技術支援センターにて



長谷川木工所にて



会津漆器協同組合役員との懇親会



鶴ヶ城にて



会津酒造歴史館



会津武家屋敷



柏洋硝子(株)二本松工場にて



柏洋硝子(株)二本松工場の見学風景

以上